

2024年4月

からし種

カトリック片瀬教会



復活祭にあたって

ブランチフィールド神父

3月26日

31日は復活祭です。今年は早い。まだこの周辺の桜が咲いていない。でも、夕空が澄んでいれば、復活祭の満月が見えるはずですよ。

おめでとうございます。みなさんの心とご家庭に蘇った主の喜びと恵みが豊かに与えられますように。

四旬節になってから、みなさんのために祈ってきました — ひとりひとりにとって神様との新しい出会いがあって、恵みの時となりますように。

コロナが流行って、ようやく静まりました。教会に来たのは久しぶりという方も大勢いるのではないかと思います。教会の典礼を新鮮な気持ちで体験したのであれば、幸いだと思います。

ポスト・コロナの共同体について、考えています。1年以上前に名簿上のみなさんを9つのコミュニティに分けました。同じ近所のみなさんが、互いに知り合うことができるように。近いうちに、それぞれのコミュニティのリーダーのみなさんの集まりが欲しい。相談して、共同体に奉仕することができるように図ってほしい。4年のうちに共同体のみなさんが歳を取りました。病人で出られない方も、一人暮らしの方も多し。今後にもっとケアリング（人を大切にする）共同体になって、主の愛の心を証しすることは大切ではないかと思う。みんなでお話し合ひましょう。

この時をきっかけにして、共同体のみなさんに感謝したい。片瀬に来てから、たくさんの方は私に親切を、色々の形で示してくださいました。ひとりひとりに直接感謝を伝えられず、申し訳なく思っています。この場を借りて、お礼を言いたいと思います。

2024年4月度教会委員会報告

開催日時：2024年3月17日(日)午前12時00分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、会計監査、典礼、福祉、
総務、宣教司牧、教会学校、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、
シャルル聖パウロ修道女会片瀬修道院

□ブランチ神父のお話

私が今一番感じていることは、信徒の中で年寄り、病人が多いことです。できるだけ病人の世話をしたいので重い病気になっている人を教会へ連絡してほしいです。司祭がお世話できるように皆さんの近くに一人暮らしの人がいたりしたら知らせて下さい。

□全体の報告および連絡事項

1. 3月3日の信徒大会の振り返りを行った。大会資料が終了後残っていないか確認したが、委員の中では把握している人はいなかった。もし、残っていたら大会に参加できなかった人にも資料として配布したい。大会の概要については、からし種4月号に掲載する。
2. 門扉の鍵が破損しており、門扉は開閉できるが鍵がかからず、修理を依頼している。
3. お知らせに掲載しているが、3月30日の復活徹夜祭の時間を18:00から19:00に変更する。理由は日没時間。なお今年は4の方が受洗予定。

□各部会からの報告

財務部

能登半島地震被災者救援募金の継続について提案あり、継続することになった。但し、一旦3月末迄に集まった募金は送金することにした。

総務部

- 1) 今年の復活祭パーティの準備は、委員会で行うことにしたが、今度のクリスマスや復活祭等のパーティは、コミュニティ当番制にしたかどうかという提案があり賛成多数で決まった。具体的仕組みやコミュニティへの説明等立ち上げは、正副委員長が行うことにした。

① 復活祭パーティ

- ・まとめ役 相澤
- ・食事等調達担当 前島
- ・アルコールはビールを提供 調達担当 池尾
- ・持ち込みOKとし、3月24日のお知らせに載せる。
- ・イースターエッグは用意しない。
- ・駐車場係は、藤江、田村

- 2) 信徒大会で出た意見に対し、色々な仕事、係は委員会の中だけではなく、広く信徒にお願いすることを確認した。依頼内容は掲示板に掲示するなどして信徒に周知を行い、お願いすることとした。

典礼部

聖週間の準備で、子ども侍者数が示された。聖木曜日の洗足式は、委員で出る人と希望者で行うこととした。

宣教司牧部

教会案内パンフレットが少なくなってきたので発注する。英語版は一枚ものを差し込みすることも考えている。

福祉部

- 1) クリスマス献金は、14 団体に送金したことの報告があった。
- 2) 福祉バザーは、10 団体が希望しており 6 月 9 日(日)10 時ミサ後～14:30 頃迄行う提案があった。従来やり方で行うのであれば委員会として承認するが、やり方については福祉部内でのすり合わせ委員長に連絡し、従来と違う方法で行うのであれば委員へのメールでの稟議とする。

教会学校

- 1) 2 月 25 日(日) 第 5 地区教会学校リーダー会が行われ、
① 5 月 19 日 運動会 ② サマーキャンプの予定 の報告があった。サマーキャンプ参加費補助については、他教会や当教会参加希望者の状況をまとめ提案する。
- 2) 第 1, 3 主日に来られていた聖心の布教姉妹会の 3 人のシスターは異動等で定期的に来られなくなった。

中高大青会

今年の堅信は 4 名受堅希望している。3 月 10 日第 1 回堅信講座。
第 2 回は 3 月 24 日予定。

一粒会

5 月 15 日梅村司教様の銀祝のお祝いについて説明があった。教区一粒会がお祝いすることを決め、霊的花束とお祝いメッセージを各地区毎に贈ることになっている。

市内キリスト教連絡会

市内キリスト教連絡会の活動について説明があった。
4 月 13 日(土) 15:00～16:30 に会合が藤沢 YMC A で開催予定。

営繕

本年度の予算では、司祭館外装修理 330 万円を組んでいるが、緊急性が高い
① 聖堂脇排水口修理 (見積額 423 千円) と ② ガス感知器の設置 (見積額 175 千円) を優先したいと提案あり、委員会で承認した。また、信徒会館の食器棚等の耐震対策の要望があった。

□ 検討・決定事項

ミサ後のカフェを復活させ、コミュニティ当番とする件は、パーティ当番同様、正副委員長で内容を作成し、説明を行って実施していくこととした。

□ 4月の予定

別表にて確認した。

4月11日(木) 9:00 サダナの祈り を追加。

次回委員会開催 4月21日

2024年信徒大会概要とまとめ

3月3日に2024年度信徒大会を開催、参加者は54名でした。

1. 冒頭神父様からコミュニティを大切にしてほしいこと、教会で色々な活動の裏方さんに気が付いていない人も多いと思うが感謝したい。とのお話がありました。
2. 次に教会委員長から2023年の活動報告と今年の予定があり、ミサ出席者数などからまだコロナ禍前に戻ってきていないこと、教会から離れてしまった人をコミュニティの力で戻ってきてもらおうという話がありました。今年は、①コミュニティの活動を活発にすること、②教会委員の交代を年末に行うので、信徒全体での選出ができるようにしていきたい、とのことでした。
3. 各部からの報告は代表者がそれぞれ活動報告等を発表して頂いたので内容が濃いものでした。
4. 財務部より、前年度決算と今年度予算の報告があり、続いて会計監査から財務処理が適切に行われていることの報告がありました。
5. 今年のテーマについて委員長から「コミュニティの精神を深めよう」ということで、前年の「信徒の交わりを広め、深めよう」をさらに深化していこうと呼び掛けがありました。
6. 教会委員会、教会諸活動メンバー紹介があり、この中で委員長から委員会であった話としてコロナ禍前に行っていた信徒会館でのお茶会を再開したいが、以前はマドンナ会があったのでお任せしていたが今はないのでコミュニティ毎の当番制としてはどうかと提案があり、多くの人に賛成して頂きました。
7. 今年度年間活動計画の説明がありました。今年は5月に堅信式が行われる

ため司教様が来られます。

8. 質疑応答では、3人の発言があり、1)広報部の委員会代表が空欄になっているが、からし種編集ではE.Kさんも加わっているとの説明、2)総務の仕事を信徒に依頼するのではなく、まずは委員会の中で分担すべきとの意見、3)この教会は非常に恵まれているが、世の中の状況を見ると今こそ教会が必要だと感じる。どうすれば教会を盛り立てていけるか、色々な経験を話す機会を設けてもらえば教会も元気になっていくと思います。

9. 最後に神父様から感謝の気持ちを持って共同体として成長するのに祈りましょう。とお話があり、約1時間で終了しました。

3月17日の教会委員会で、信徒大会のふり返りが行われ、質疑で出た件については、

1. 総務の仕事を委員会内ですべきという意見に対しては、そもそもマンパワーの限界があり無理とのことで具体的仕事を出来る信徒にお願いするという事だった。もし、委員会内できるようになれば委員に仕事が集中することになりますます委員を受けられる人がいなくなる、委員もそうでない人も同じ教会の信徒なのだから、広く分担すべきという結論になりました。

2. ミサ後のお茶会のコミュニティ当番制については、多くの信徒が賛成して頂いたので早急に、正副委員長が具体的方法を決め、コミュニティに相談することになりました。また、復活祭やクリスマスのパーティの準備も以前はマドンナ会にやっていたが、これもコミュニティの当番制にしてはどうかとの意見がありこれも提案することになりました。今年のテーマ、質疑応答での意見からこれらの活動を通してコミュニティが活発になっていくことが期待されます。

「聖ヨセフ」のミサ

片瀬教会は、聖ヨセフを守護聖人として、昭和14年(1939)3月19日聖ヨセフの祝日に献堂されました。85周年にあたる今年は、3月20日(春分の日)に「聖ヨセフ」のミサが挙げられました。

司祭の入堂前に、聖ヨセフを賛美する歌「Vir fidelis」が聖歌隊によってラテン語で歌われ、参列した約40名が厳かな雰囲気の中でミサに与りました。

「神の望みに従順に従い、聖家族の長であり救世主イエスの父親としての役割を全うした聖ヨセフ。その神への深い信頼に倣い、私たちも日々神の声に耳を傾け従順に過ごしましょう。また、私たち共同体が神の国の証しとなりますよう見守っていてください。」と、神父様のお話がありました。

聖ヨセフについて改めて思いを馳せ、恵みに感謝し、導きと取り次ぎを祈りました。祝日だけでなく、いつも教会の守護聖人を心に留めておきたいものです。



～ガーデニングサークル～

朝顔の押し花カード いよいよフランスへ

ガーデニングサークルでは、3月10日ミーティングの後、朝顔の押し花を使ってカードを作成しました。朝顔プロジェクトのスタッフの皆さんが用意された台紙に、押し花をピンセットで置いていき、カードに聖句の応援メッセージを添えました。持参された小型のラミネートできれいに仕上げてください、片瀬教会からの応援カードができあがりしました。それぞれのセンスを生かして夢中で作業、25枚ほどが完成しました。

第一便の朝顔のタネがマルセイユに到着。早速育て、今夏には花を咲かせられるだろうとのこと。新型コロナ禍、無観客開催となった2020年東京オリンピック時に咲かせた朝顔たちの無念を思い出すきっかけとなることを願いつつ、朝顔プロジェクトは熱心に活動をしてきたそうです。認知度が広がり、段々周知されるようになったとの苦労話もお聞きしました。

ガーデニングサークルでは、この一年間を通して朝顔に携わってきました。教会学校の子もたちとの種まき、可愛い花を覗かせた夏の朝、極暑の中での水やり、タネの収穫。楽しさと難しさを知った一年でした。いよいよ朝顔プロジェクトのスタッフ4名の方々が、このポストカードを携えてパリオリンピック会場に向けて飛び立ちます。片瀬教会ガーデニングサークルのメンバーは、庭だけではなく広く世界と繋がる貴重な体験をすることができました。



聖マルコ福音記者

4月25日は、聖マルコ福音記者の祝日です。マルコによる福音の著者は、聖ペトロや聖パウロの手紙に出てくるマルコ、使徒言行録に出てくるヨハネ・マルコと同一人物と考えられています。

彼の育った家庭はエルサレムにあり、この家に使徒たちが親しく出入りしていたり、人々が集会する場、教会になったと言われています。彼は12使徒ではなく、同時代の弟子の一人でした。マルコによる福音書14・51～52「一人の若者が、素肌に亜麻布をまとってイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする。亜麻布を捨てて裸で逃げてしまった。」とありますが、この若者はマルコ自身であると言われています。

マルコはアレキサンドリアで司教として信徒の世話をしていました、74年頃殉教したと伝えられています。後にヴェニス商人がアレキサンドリアでマルコの墓を発見し彼の遺体をヴェニスに持ち帰りました。これが、有名なヴェニスのサンマルコ大聖堂の由来であり、マルコがヴェニス市の守護の聖人の由来です。



2024年4月

☆教皇の意向：女性の役割

女性の尊厳と価値があらゆる文化で認められ、さまざまな差別に終止符が打たれますように。

☆日本の教会の意向：日本司教団のアドリミナ

日本の司教団がペトロの後継者との絆をさらに深め、よい牧者として日本の教会を導いていくことができますように。

※アドリミナ…各国司教団が5年おきにローマを訪問し、教皇に謁見して各国・各教区
の状況を報告するもの

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日		典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
4/1	月			
2	火			
3	水			
4	木			まりあ食堂
5	金	初金	9:30	
6	土			
7	日	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)	8:00 10:00	
8	月	✠神のお告げ		
9	火			
10	水			聖書と典礼を読む会 10:00
11	木	聖スタニスラオ司教殉教者 記		サダナの祈り 9:00
12	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
13	土			
14	日	復活節第3主日	8:00 10:00	
15	月			
16	火			
17	水			聖書と典礼を読む会 10:00
18	木			
19	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
20	土			
21	日	復活節第4主日	8:00 10:00	4月度教会委員会、福祉バザー
22	月			
23	火			
24	水			聖書と典礼を読む会 10:00
25	木	聖マルコ福音記者 祝		
26	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
27	土			
28	日	復活節第5主日	8:00 10:00	
29	月	聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士 記		
30	火			

◆お知らせ◆

○2024年度も昨年同様、ブランチフィールド神父様による下記の講座が開講されます。継続の方はもちろん新規入会の方も大歓迎です。

「聖書と典礼を読む会」毎週水曜日 10時～ 4月10日より

「キリスト教入門講座」毎週金曜日 10時～ 4月12日より

場所は、いずれも信徒会館2階です。お問合せ 090-4541-5574 小泉

○4月23日(火)19時より、カトリック藤沢教会にて、「テゼの祈り」が開催されます。聖書の短い言葉をシンプルなメロディで繰り返し歌い、そして黙想するという独特のテゼの祈りのスタイルで、世界の連帯と平和を願いませんか。

2024年4月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>